

佐藤五郎先生プロフィール

2010年8月現在

出身・生年：1946年山形県長井市出身

現住所：山形県長井市

1969年3月：山形大学教育学部卒

1969年4月：米沢中央高等学校教諭、現在（副校長）に至る

現在：国土交通省最上川水系流域委員会副委員長、国土交通省長井ダム懇談会委員、国土交通省河川環境保全モニター、国土交通省赤川水系流域委員会委員、環境省温暖化対策補助事業「エコカップやまがた 2010」事業実行委員会委員長、山形県温暖化防止推進委員会委員、山形県環境アドバイザー、山形県「最上川の重要文化的景観調査検討委員会」委員、美しい山形・最上川フォーラム副会長、最上川リバーツーリズムネットワーク代表理事、最上の水環境保全ワーキング座長、県民ネット最上川会長、長井市環境審議会委員、長井市ダム周辺環境整備連絡協議会委員、山形大学連携講座「最上川学」講師 など
その他、環境省、国土交通省、山形県、県内市町村の環境調査委員、選定委員および計画策定に携わる。

とくに平成 10 年より県民ネット最上川会長として最上川の環境改善に向けた市民の啓発啓蒙活動を展開している。さらに平成 13 年度よりは美しい山形・最上川フォーラムの設立運営に携わり、現在は運営委員ならびに副会長として多彩な指導および活動を行っている。また山形県と地元市民の間で検討されている赤湯「白竜湖」の保全対策について調査研究とともに指導助言を行っている。

山形県、山形大学工学部、米沢中央高等学校との連携で実施している堀立川の河川浄化システムに関するフィールド実験でも、調査研究とともにアドバイスを行っている他、山形県の産官学連携やまがたネットワーク（Party 21）にも参画。また近年は、温暖化対策における環境家計簿の作成・実施および普及なども手掛けている。

著書：母なる川・最上川（山形県生涯学習人材機構、共著）「最上川」「蔵王連峰」「御所山」「摩耶山」（山形県総合学術調査会、共著）「日本の水環境」（日本水環境学会編、共著）、「鳴子火山・潟沼における水温・水質の形成機構」（日本水環境学会編、VOL18）、一県一河の大河川「最上川」（雨水技術資料 VOL38）、「最上川の水質形成機構と変遷」、「山形県・白竜湖の湖盆形態の変遷と水質形成」、「最上川上流域における面源負荷の流送機構について」「白鷹山地域の陸水」（文部科学省オープンリサーチ・センター整備事業、東北芸術工科大学東北文化研究センター研究報告書 2003、2004、2005、2006）その他各種学会・学術雑誌投稿論文、各種調査報告書多数。また教育関係学会や山形県高等学校理科教育研究会研究誌にも多数発表。